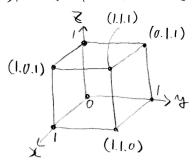
## 東工大 1993後期 ①



XYZ空南で考える

左回のおな立方体を (0.0.0)、(1.1.1)を通る直線しを軸として 回車云せることを考る。

しの方向がルにのうち、大きけっておきののしは(一点点」

LLの点(A.A.A.) (0ミルミラ)を通り 法録がルれ(11.1)の平面をエとなる

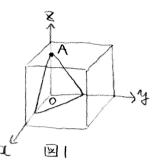
TO方程式は、X-2+4-2+8-20、X+4+2=13の

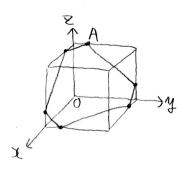
TCボ(0.0.1)を通ぶき、企青さなおら、下と立方体の交かりは ロミロミーでのとき図し、一点ミロミーでのとき図とのようになる。

TEと立が体の交かり上になるたと(音音音)のキョリの最大値をfa)とすると、 fa)を与える点のトラは図1、図2のAである。

Tとを動か交点の座標は(0.0.13A) よていられられるまなままれることれる。

Tと直線  $\xi=0.8=1$  の交点の度井票は YH=ふん、Y=ふん-1 より (0. ふん-1.1) よって 売 らんと ここここと 「んろ」 よって 売 (34-1-45) + (1-45) =  $\frac{1}{3}$  +  $\frac{1}{3}$  -  $\frac{1}{3}$ 





なる体積をひとなる、対称性より、

$$\frac{1}{2\pi} = \int_{0}^{1/3} 2\lambda^{2} d\lambda + \int_{\frac{1}{\sqrt{3}}}^{1/3} (2\lambda^{2} - 2\sqrt{3}\lambda + 2) d\lambda = 2\left[\frac{\lambda^{3}}{3}\right]_{0}^{1/3} + 2\left[\frac{\lambda^{3}}{3} - \sqrt{3}\frac{\lambda^{2}}{2} + \lambda\right]_{\frac{1}{\sqrt{3}}}^{1/3}$$

$$= \frac{2}{3} \frac{1}{3\sqrt{3}} + \frac{2}{3} \frac{3\sqrt{3}}{3} - \sqrt{3}\frac{3}{4} + \sqrt{3} - \frac{2}{3} \frac{1}{3\sqrt{3}} + \sqrt{3}\frac{1}{3} - \frac{2}{3} = \left(\frac{1}{4} - \frac{3}{4} + 1 + \frac{1}{3} - \frac{2}{3}\right)\sqrt{3}$$

$$= \left(-\frac{1}{2} + 1 - \frac{1}{3}\right)\sqrt{3} = \frac{\sqrt{3}}{6}$$